

令和2年度決算の状況

八戸市の財政

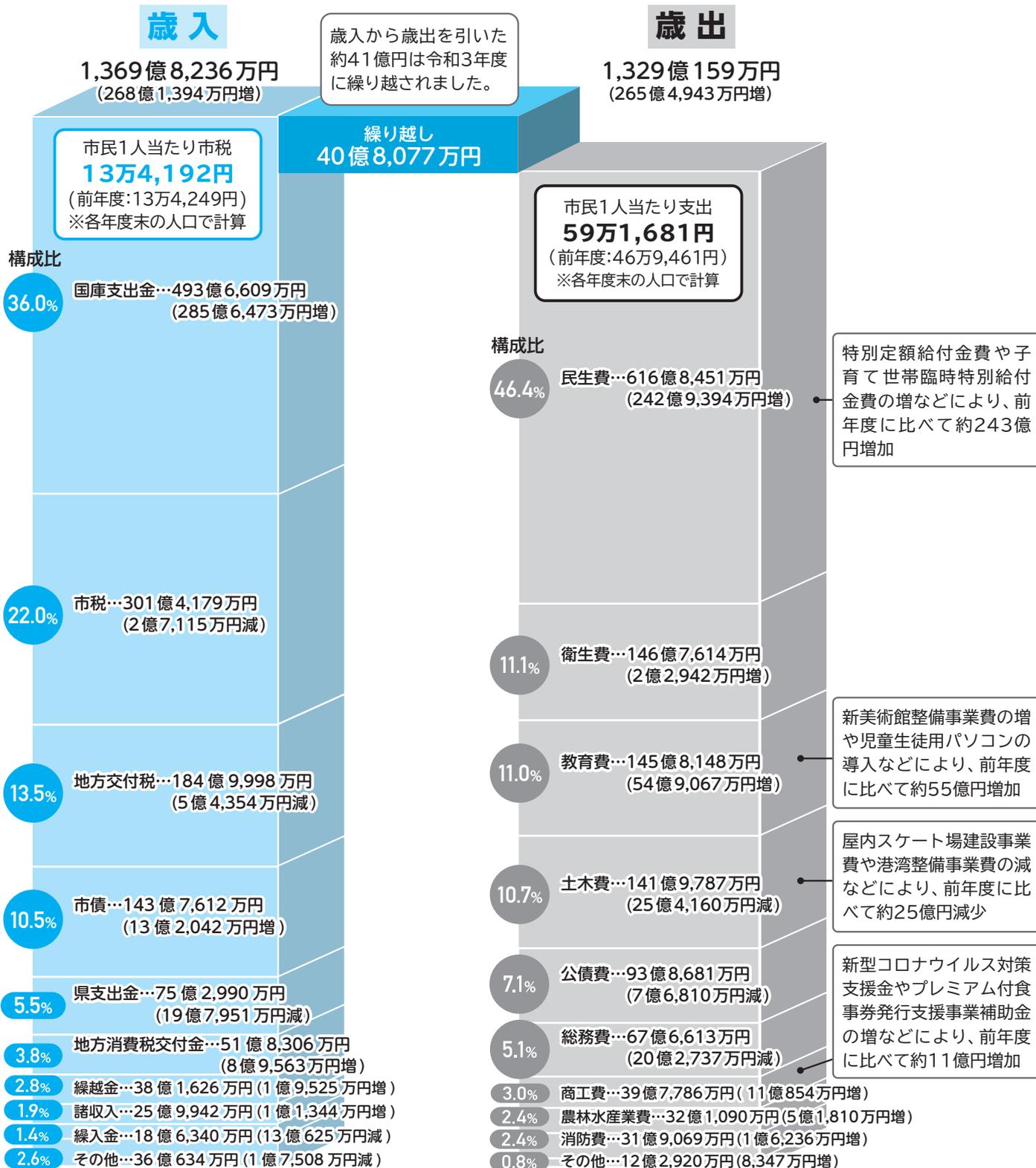
固財政課☎43-2154☒市ホームページ内で「財政」を検索

市では毎年、1年間の歳入(収入)と歳出(支出)の結果をとりまとめた決算の状況について公表しています。これからも安定した財政運営を継続していきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

一般会計

福祉や教育、公共事業など、市の基本的事業の収入・支出を経理する会計です。

※()内は対前年度比



特別会計

一般会計とは別に、特定の事業における収入と支出を経理する会計です。市には13の特別会計があります。

会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	233億7,307万円	229億5,172万円	4億2,135万円
介護保険	221億8,477万円	216億3,028万円	5億5,449万円
後期高齢者医療	29億 107万円	28億4,074万円	6,033万円
学校給食	19億5,888万円	19億4,257万円	1,631万円
都市計画土地地区画整理事業	16億1,540万円	15億3,970万円	7,570万円
産業団地造成事業	3億4,649万円	3億4,599万円	50万円
地方卸売市場八戸市魚市場	2億6,672万円	2億4,937万円	1,735万円
中央卸売市場	2億4,657万円	2億3,794万円	863万円
国民健康保険南郷診療所	1億9,721万円	1億6,955万円	2,766万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億4,226万円	4,303万円	9,923万円
駐車場	9,104万円	7,477万円	1,627万円
霊園	5,771万円	5,563万円	208万円

公共用地取得事業特別会計は、歳入歳出とも0円でした。



企業会計

独立採算を原則とし、民間企業と同様の経理方式をとる会計です。

【市営バス】

区分	収入額	支出額
収益的収支の状況	15億 208万円	17億 932万円
資本的収支の状況	3億3,536万円	4億2,684万円

【市民病院】

区分	収入額	支出額
収益的収支の状況	220億1,462万円	204億2,015万円
資本的収支の状況	38億2,324万円	50億4,041万円

【下水道】

区分	収入額	支出額
収益的収支の状況	73億387万円	69億6,365万円
資本的収支の状況	73億735万円	98億5,877万円

用語の説明

- ▷収益的収支とは、企業の経営成績を示す収支のことです。
- ▷資本的収支とは、バスの購入や医療機器の購入、下水道の整備などに要する費用と、その財源の収支のことです。

財政指標

地方自治体の財政が健全に運営されているかどうかを判断する指標として、「健全化判断比率」と「資金不足比率」があります。

【健全化判断比率】

指標	内容	八戸市	財政健全化法における基準	
			早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	全ての会計を合算した赤字の割合	赤字なし	16.25%	30%
実質公債費比率	市税など、使いみちの特定されない歳入に対する負債返済額などの割合	9.5%	25%	35%
将来負担比率	市税など、使いみちの特定されない歳入に対する将来負担すべき負債の割合	126.0%	350%	—

国が定める基準をクリアしているんだね!



【公営企業の経営の健全化】

公営企業は、資金不足比率が経営健全化基準の20%を超えると、経営健全化のための計画をつくり、経営の立て直しに取り組む必要があります。市では元年度に引き続き、資金不足額がない状態です。

指標	会計名称	八戸市	財政健全化法における経営健全化基準
資金不足比率	地方卸売市場八戸市魚市場、中央卸売市場、産業団地造成事業、自動車運送事業(市営バス)、市民病院事業、下水道事業	資金不足なし	20%

用語の説明

資金不足比率とは、公営企業の資金不足額を営業収益規模と比較した割合のことです。